

中村欣一郎市長の

山椒は小粒でも…



Vol.44

「補完する」ということ



昨年10月、全国の「危険なバス停」のひとつに、鳥羽市内のバス停が選ばれてしまいました。危険なバス停とは、バスが停留所に停車した際、交差点または横断歩道にその車体がかかるバス停のことです。さうそく担当課が地元と調整を行い、停留所の位置を少し移動させることで、横断歩道に車体がかぶさるような危険な状態を解消したところです。

それに関連して、バス利用者の安全な乗り降りはもちろん



この危険なバス停はすでに解消されました

話は変わりますが、鳥羽市内では毎週日曜日に朝市が開催されています。第1、第3日曜日は「今浦朝市」と「国崎おさない朝市（現在休止中）」が、第2、第4日曜日は「あらしま朝市」が開催されています。これらの朝市が安定して開催されることで、「鳥羽では毎週日曜日に朝市がある」ということが市内外にすっかり定着しています。いずれかひとつの朝市が毎週開催するのは商品を揃

えるのも大変でしょうし、しんどいことでしょう。また、朝市以外にやりたいこともあると思います。でも互いに隔週2回ずつなら開催できそう。私はそんな鳥羽の朝市の関係性がとても時代に合っていると思います。まさに「補完する（足りなところを補って完全にすること）」ということで、最近もつとも気になる言葉です。

バス停の待合所も同じ考えで改善できないでしょうか。例えば、バス停の近くに店舗や施設があるなら、店内やロビーを待合所として利用させてもらえないか。そんなことを考えます。店内にミニ図書館として本があつたり、セルフのカフェがあつて、お茶やコーヒーが飲めたりすれば、時間待ちも苦にならないでしょうし、何より利用者はその店舗のお客さんにもなることでしょう。これも「補完する」ことにならないでしょうか。軒先を日除け、雨除け風除けに改装してもらえないか……すぐには無理でも、移転や新築の際にはぜひぜひ一考いただけるとありがたいです。

さまざまなかたにご協力いただきながら、少しずつですが暮らしやすいまちづくりを進めてまいります。

イコールパートナーシップ

Vol.141



女子高校球児の夏

市民課人権・市民交流係

☎ 25 1126

4月28日、全国の女子高校球児に喜びの一報が飛び込みました。全国高等学校女子硬式野球連盟と全日本女子野球公式野球連盟が、今夏開催の第25回全国高等学校女子硬式野球選手権大会の決勝戦を、甲子園で開催すると発表したのです。

これまで、高校生の女子硬式野球全国大会は、男子と同様に春の選抜と夏の選手権大会があり、以前から、女子の全国大会も甲子園での開催を望む声があがっていました。

多くの女子高校球児と関係者から切望されてきたこの決定に際し、全日本女子野球連盟の山田博子会長は「大きな一歩になる。甲子園を目指した子が諦めなくていい。そこに立ってなくて指導者になった女子の監督も立てるのは大変意義のあることだ」と説明し、日本高等学校野球連盟の小倉好正事務局長は「お互いが今後、

話し合いを持つことで、前向きに協力に向けて検討していくというのができれば…。一つのスタートと捉えている」とコメントしています。

開催日は、男子の第103回全国高校野球選手権大会の休養日にあたる8月22日となる見通しです。

試合数は男子に比べると少ないものの、これをスタートラインとし、今まで男子高校球児たちに限られていた、憧れの場所、女子高校球児たちが繰り広げる熱戦を見られる日が近づいています。

